

2015 夏季手当第1回交渉

要求内容

- (1) 基準内賃金の3.2ヶ月分を6月26日までに支払うこと。
- (2) 成績率の適用については公正厳格に行うとともに、人材育成に有効に活用すること。

5月28日(木)本部は2015年度夏季手当支払いに関する第1回団体交渉を行った。今回は組合から趣旨説明、会社から認識について説明がなされた。

組合の要求趣旨では、・山手線電化柱倒壊事故、新幹線架線事故でお客さまにご迷惑をお掛けした。社員は一生懸命仕事をしているが技術継承が追い付いていない。やる気を出すためボーナスは最大限出して欲しい。株主配当を上げるなら社員の夏季手当も上げて欲しい。・山手線、新幹線の事故以降、利用者、国民から会社のイメージダウンで社員は現場で厳しい目に晒されながら、イメージの回復に努めている。春闘は回答が4月1日と集中回答日より大きくずれ込んだ。JRを代表する会社として余裕を持った交渉と回答を求める。・運輸収入が好調であり、特に人口減少での定期券収入増加は嬉しい。上野東京ラインの効果があつたと思う。定期外収入では、北陸新幹線開業効果、GW輸送も天候に恵まれ好調に推移した。現場では技術継承が追い付いていない。山田線の経営移管、法人税等改正に伴う調整額の増加があつたが、実質的には増収増益と考える。等、日々の安全安定輸送、業績確保に努力した社員に対してのモチベーション向上、公正な配分を求める要求が行われた。

会社の現状認識では、・山手線電化柱倒壊事故、新幹線架線事故は足元をしっかりと見つけ直して安全安定輸送に取り組んでいきたい。・営業収益は3期連続の増収であったが、営業利益が平成6年のピーク時に届いていない。利益水準は低下している。平成27年度業績見通しは収益、利益とも向上の見通しだが、費用の増加も見込んでいる。更なるコストダウンが必要。・2年連続のベアは将来的にも人件費として業績に影響を与える。・交渉は真摯かつ早期合意に向けて対応したい。

**JREユニオン一丸となり、2015年夏季手当
満額回答を勝ち取ろう!!**